

2011年3月期連結決算報告(2010年4月1日～2011年3月31日)

- 通期業績は、2010年8月5日に発表の業績見通しに沿った結果
- 建築用ガラス事業は、数量回復とコスト削減効果を反映した業績
- 自動車用ガラス事業は、ほとんどの市場で需要堅調により増収増益
- 機能性ガラス事業は、好調な家電市場の恩恵を享受
- 持分法適用会社の業績は堅調
- 東日本大震災による2011年3月期業績への影響は限定的だが、2012年3月期への影響はより大きい
- 戦略的経営計画(SMP)に沿って、2012年3月期を通して利益は改善していく

通期業績は、2010年8月5日に発表の業績見通しに沿った結果

- グループ売上は、円ベースでは前年比2%ダウンの5,772億円(前年同期5,884億円)、為替変動を除くと6%増収
- 営業利益は、143億円(前年同期 営業損失172億円)、地震影響7億円除くと業績見通しの150億円に沿った結果
- 数量増とコスト削減の顕現により増益

建築用ガラス事業は、数量回復とコスト削減効果を反映した業績

- ほとんどの建築市場で数量が増え、価格は安定化している
- コスト削減が引き続き顕現し利益を下支え
- 建築用ガラス事業の通期売上は、2,448億円(前年同期 2,495億円)、営業利益は、165億円(前年同期13億円)

自動車用ガラス事業は、ほとんどの市場で需要堅調により増収増益

- 新車用(OE)数量がほとんどの地域で前年を大幅に上回る
- 補修用市場は、徐々に改善
- 自動車用ガラス事業の通期売上は、2,640億円(前年同期 2,651億円)、営業利益は、187億円(前年同期130億円)

機能性ガラス事業は、好調な家電市場の恩恵を享受

- 1年を通じて機能性ガラス事業関連市場は継続的に改善
- 機能性ガラス事業の通期売上は、630億円(前年同期 661億円)、営業利益は、75億円(前年同期 37億円)

持分法適用会社の業績は堅調

- 持分法適用会社の持分利益は、81億円(前年同期24億円)
- セブラセ(ブラジルの建築用ガラスの50%合弁会社)は、堅調な市場状況に支えられ順調
- 中国およびロシアの持分法適用会社の業績も改善

東日本大震災による2011年3月期業績への影響は限定的だが、2012年3月期への影響はより大きい

- 2011年3月期業績への影響は、営業利益が7億円減、特別損失が10億円増
- 2012年3月期業績への影響は、一部機能性ガラス事業もあるが主に自動車用ガラス事業で、営業利益 60億円の減少を見込む
- 建築用ガラス事業は、フル生産で復興に対応

戦略的経営計画(SMP)に沿って、2012年3月期を通して利益は改善していく

- 2012年3月期の業績予想は、国際会計基準(IFRS)を適用
- 特に年後半から利益は改善
- 数量増のプラス効果によりエネルギーコスト上昇影響を軽減
- 価格転嫁の機会を適切に追求
- 昨年11月に発表した戦略的経営計画(SMP)は、今期以降の当社グループの利益成長の指針

長期的見通しについての確信を踏まえ、取締役会は年間配当を維持

<2011年3月期連結決算説明資料より抜粋>

連結損益計算書



(億円)	11年3月期 通期	10年3月期 通期	前年比
売上高	5,772	5,884	- 2%**
暖簾等償却前営業利益*	302	9	
暖簾等償却費*	(159)	(181)	
営業利益	143	(172)	
営業外損益	(66)	(114)	
経常利益	77	(286)	
特別損益	(43)	(138)	
税前利益	34	(424)	
当期純利益	17	(413)	
EBITDA	625	410	+ 52%

*P社買収に係る暖簾・無形固定資産償却費負担を除いた

**為替変動を除くと+6%

3事業部門全てで収益性改善